



第1投目：釣らせてもらったシーズン初釣行

2014.12 月某日、私の今季クロ釣りシーズンがついに幕開けしました。天気の良い休日だったこの日、我がクラブメンバー5名で渡船に乗り込み、朝6時に古仁屋港を出港、船は請島を經由し与路島まで向かうことになりました。

この日の満潮は午前8時頃だったため、なるべく早く磯に降り残り少ない上げ潮を狙いたい気持ちを抑えつつ、まだ夜が明けきれない暗い海を船は進みます。

請島周辺の磯に3名が渡り、私は残った2名で名礁の与路T瀬に渡れることになりました。シーズン初釣行でクロを狙うには願ってもない場所です。北からのうねりがまだ大きく残っていたため、道具を高台までせっせと運び、まずはサラシが大きく広がる船着き側から釣り始めました。

潮を見るとまだ上げ潮は残っているようですが、満潮を前にだいぶ緩んできているようです。釣り始めて3分、足元に撒き餌を打っていると、茶色の魚体に黄色い線がうっすら入っている魚がキワから飛び出し餌を拾うのが見えました。『オキナメジナか…クロだったら良かったのに』と思いつつ、次の1投で私が釣り上げます。『ここでオキナメジナが最初に釣れる時はダメなんですかね?』などと話しながら二人で釣ること15分、相方が自分の潮下で重量感のある魚をヒットさせました。海の中が大きなサラシで見えないため、浮かすまで魚は何か分かりませんでしたが竿のしぼり方はクロそのもの！無事49cmの良型クロが幸先良くタモに収まりました。相方が場所を譲ってくれ、さあ次は私の番です。うんと張り切りますが、カスミアジは釣れるもののクロは全くヒットしません…。

ふと後ろを見ると相方が高台から難儀しながらタモを伸ばしています。裏側に移動したその矢先、すぐに2枚目のクロをゲットしたところでした。『いいなあ〜うらやましい…』と思いつつその場で釣り続けていると、5分後に相方がなんと本日3枚目！これで3-0になりました。勝負してるわけではないのですが、やはりここまで差がつくと私の気持ちも完全に沈みがちです↓↓

私の気持ちを察した優しい相方は再び場所を譲ってくれました。素直に場所に入れさせてもらう私…(笑)、それからはサラシのタイミングを計りながら撒き餌と刺し餌を同調させることだけに集中し、なんとか3枚のクロを釣り上げることができました。

クロの釣果には恵まれましたが、この日は相方に釣らせてもらったようなもの。一緒に磯で釣りをする仲間の気持ちを察してすぐに行動できるような釣り人に私もなりたいたいと感じたシーズン初釣行でした。

